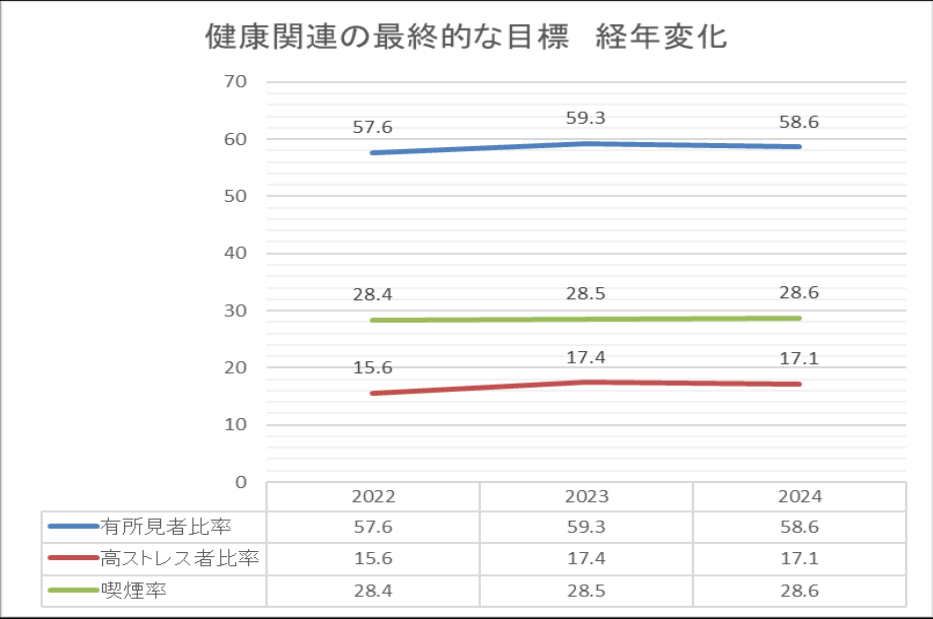


健康投資施策		投資額(原則2024年度)	実施結果
健康診断実施			
健康診断費用補助	8,836,713円	健康診断受診率:98.7%	
健診管理システムの導入	6,738,000円		
重点項目①女性の健康課題に関する取り組み			
低用量ピル費用補助制度	229,560円	年度累計利用者:8名	
3030プロジェクト実施	165,315円(参加者人件費)	—	
3030コンベンション実施 (2024年11月25日)	1,172,951円(参加者人件費)	管理職者における参加率:91.4% アンケート回答者における満足度:90%	
ウィメンズコンベンション実施 (2025年2月27日)	362,119円(参加者人件費)	対象者における参加率:93.2% アンケート回答者における満足度:5段階中 4.2	
女性の健康課題に対する教育機会の 提供(テーマ:更年期症状)	※低用量ピル費用補助に含む		
重点項目②メンタルヘルスに関する取り組み			
ストレスチェックの実施	※保険料に含む	受検率:97.2%	
外部オンライン相談サービスの導入	248,160円 ※2025年8月から導入	—	
重点項目③禁煙に関する取り組み			
特定保健指導実施	※社会保険料に含む	特定保健指導実施率:10.9%	

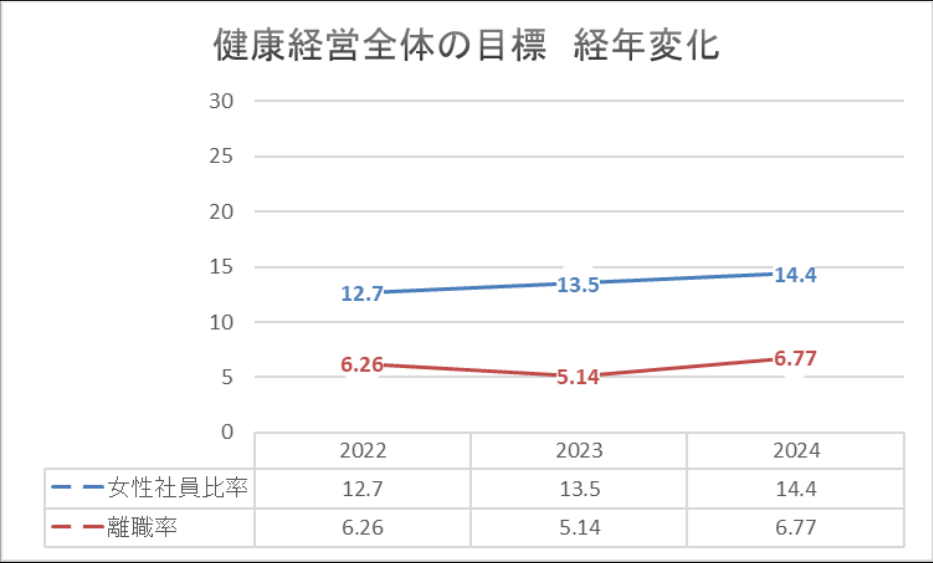
健康課題の改善について



健康関連の最終目標として、有所見者比率45%以下、高ストレス者率15%以下、喫煙率20%以下を掲げている。

2024年度は有所見者比率58.6%、高ストレス者率17.1%、喫煙率28.6%と目標を上回る水準で推移。一方で、健康診断受診率や健康施策への参加率、ヘルスリテラシーは着実に向上しており、社員の健康意識の定着が進みつつある。今後は個々の行動変容を促す施策を強化し、目標値への段階的改善を図る。

企業経営に対する健康経営の効果について



女性社員比率は2022年度12.7%から2024年度14.4%へ上昇し、着実な改善がみられる。

一方、離職率は2023年度には5.14%まで改善したものの、2024年度には6.77%に上昇。男女別では男性が安定推移しているのに対し、女性は経年での変動が大きい。特に女性は男性と比べて体調やライフステージ変化の影響を受けやすい傾向があるため、今後はこうした背景に配慮した健康支援や柔軟な働き方を推進し、長期的なキャリア継続を支える体制づくりを進める。

また、2025年度からは新たにワーク・エンゲイジメントを健康経営のKGIとして設定し、全社員の働きがい向上に取り組んでいく。

パフォーマンス指標について

指標	2022	2023	2024
①プレゼンティーイズム	—	79.0%	80.0%
社員1人当たり年間平均損失額	—	—	1,049,021円
②アブセンティーイズム	1.2日	2.6日	0.8日
③ワーク・エンゲイジメント	—	—	2.39

- ①**プレゼンティーイズム**:従業員が、勤怠管理上は表に出てこないが、健康問題が理由で生産性が低下している状態

【測定方法】
東大1項目版を用いた従業員アンケートを実施。実績値は回答者平均。 ※2023年度～計測開始
【測定人数／回答率】435名／86.0%(2024年7月8日～21日従業員アンケートにて実施)
- ②**アブセンティーイズム**:従業員の健康問題による仕事の欠勤(病欠)の状況

【測定方法】
傷病休職制度の利用日数の全正社員平均。(傷病を理由とした欠勤や有給取得日数は未把握。) ※2022年度～測定開始
【測定人数／回答率】452名／100%
- ③**ワーク・エンゲイジメント**:熱意、没頭、活力の3つがそろい、積極的に充実した心理状態

【測定方法】
新職業性ストレス簡易調査票を用いて測定。「仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる」「自分の仕事に誇りを感じる」の2項目についてスコアの全社員平均。 ※2024年度～測定開始
【測定人数／回答率】485名／97.2%(2024年10月7日～25日ストレスチェックにて実施)

2024年7月6日開催
ハードオフ杯選手権アーチェリー大会



年に1回、「HARD OFF ECOスタジアム新潟」の無料使用権を活用し、障害者スポーツ大会を兼ねたアーチェリー大会を開催。

2024年10月13日開催
新潟シティマラソン



新潟シティマラソンにスポンサーとして協賛し、社内だけでなく、取引先も含め参加案内を実施。参加費用の補助を行っている。